南信州広域連合地域自立支援協議会　くらし部会（医ケア・重心・身体チーム）

自立支援協議会への提供課題

くらし部会（医ケア・重心・身体チーム）では、当事者や家族が地域で安心して暮らせるよう地域や個々が抱える課題について取り組んでいるなか、急務とする課題について課題提供を行う。

1. 医療的ケア・重症心身障がい児者を受け入れられる生活介護事業所の不足。

医療的ケア特に人工呼吸器使用児者の受け入れ先が限られている。その理由として、人工呼吸器の管理、吸引等、常時監視が必要であり送迎時の看護師対応も必要となるが、看護師・職員不足の現状から受け入れは困難な状況が続いている。そんななか１つの解決策として高齢者デイサービス施設の共生型が期待されたが、定員の空きはなく受け入れには至っていない。また、利用する側としても環境や体制整備に不安を感じている。

今後、医療的ケアが必要な児者が増えていくことが予想されるため、医療型短期入所（日帰り）も含め当事者、家族が安心して利用できる事業所の誘致、検討を進めてほしい。

1. 医療的ケア・重症心身障がい者の圏域内入所施設の必要性

現在、圏域内には医療的ケア・重症心身障がい者が入所できる施設はなく、将来（入所）に向け顔つなぎをかねて幼少期より松本圏域内の医療機関でレスパイトを利用する家庭が増えている。

現在、圏域内では２か所の医療機関がレスパイトの受け入れを行っているが将来（入所）に結びつくところはない。

介護者の高齢化に伴い、家族が在宅生活を支えられなくなった場合、他圏域の医療機関へつながるために、医療的ケア・重症心身障がい者が長距離を移動するリスク、費用負担、看護師同行手配等、当事者、家族への負担が大きく課題は多い。このことから圏域内にも入所を受け入れられる事業所の検討を進めてほしい。